

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		※分からない場合は、「いいえ」として集計				公表日	令和8年1月29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	・基本的には、一部屋に子ども一人（多くても子ども二人）となるようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	・個別に部屋で支援できるのは良い。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・掃除が行き届いている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	・その日の利用人数にもよるが、こどもの状況を見て部屋を変更することもある。	・もう一部屋あると良い。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	・職員一人一人が、年間で目標設定をし、半期ごとに振り返りをしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・半期ごとに、管理者が職員一人一人と面談を実施している。面談以外でも、意見が言いやすい雰囲気作りをしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	8		・第三者委員は設置しているが、外部評価をして頂いたことがない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・外部研修の案内を共有している。 ・研修の機会が増えた。	・研修費の申請回数に上限がある。より資質の向上を図るのなら、上限を設けるべきではない。	
適切な支援の提案	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	2		・もっと子どもや親と話をする時間を取った方がよい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	2		・計画作成の際、職員全員では検討出来ない。児童発達支援管理責任者が作成した案を元に、職員間で議論している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・（計画を共有する）支援会議はあった方がよい。指導員が初めて知ることがある。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	・今年度は、S-M社会生活能力検査を実施した。保護者の方から検査結果を頂いた際には、支援の参考にしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	・集団活動は、ボードゲームの他に、運動、工作、簡単な調理などを取り入れ、固定化しないようにしている。 ・集団活動のボードゲームのルールは、子どもが理解しやすいように変更している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	3		・必ず職員全員で行うのは難しいが、必要に応じて打合せを行い、連携して支援を行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	・日々の支援記録を共有することや支援会議で、支援の振り返りや気付いた点の共有を行っている。	・必ず職員全員でその日のうちに行うのは難しいが、必要に応じて振り返りを行い、気付いた点を共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	・日々支援記録を残すことを徹底している。担当が毎回変わるため、こどもの支援前に確認するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	4		・「地域交流の活動」や「子どもが主体的に参加できる活動」は少ない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	2	・その日の意識して取り組む目標については、子どもが自分で決めるようにしている。 ・個別活動で取り組む内容にしては、子どもの意見を聞き、取り入れることもある。	・全体においての確認がされているかは不明。 ・その週やその日の活動についての全体的な活動内容は指導員が決めているので、選択できるようにはなっていない。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	4		・連携できるようにはしてあると思うが、そういう機会は少ない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	6		・保育所や幼稚園まで連絡をすることはない。必要であれば、連携をとりたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	4		・小中学生を対象としているため、これまでそういった例が少ない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	3	・今年度は、児童発達支援センター主催の研修に参加した。今後も積極的に参加したい。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	8		・以前は、土曜日の体験活動の際、地域のスポーツ大会などに参加したことがある。現在は、土曜日の体験活動は調理がメインとなっているため、そういった機会がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・LINEで連絡しあうのはいいと思う。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	2		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1		・小学生に意向を聞くのは難しいが、高学年からは本人と話をしているのはよいことだ。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	3		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	7		・保護者会の構想は以前からあるものの、実施には至っていない。ピースグループ全体で研修も含めた保護者会の実施を計画中。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	2	・子どもが日々取り組んだプリント等のデータをラインにお送りするようにしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	2		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	7	・町内会には加入しており、地域の清掃活動には参加している。	・行事に地域住民を招待することなどは、今のところ考えていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	・各種マニュアルは、ピースグループのホームページで公表している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	3	・契約時に、基本情報シートに状況を記入して頂くようにしている。	・職員全員が基本情報シートを見られるようにしているが、全員が毎回確認できているわけではないため、改善したい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	4	・食物アレルギーの有無は、契約時の基本情報シートを記入して頂き、確認している。医師の指示書がある場合には、それに基づいて対応したい。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2		・保護者の方へ取組の周知は出来ていないと感じる。周知をして、保護者の方としっかり連携が取れるようにしていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	4		・虐待防止委員会にて身体拘束を行う場合について決定し、保護者の方には重要事項説明書の説明の中でお伝えしているが、現時点では個別支援計画には記載していない。